



令和6年度のスタート

校長 伊藤 さおり

お子様の御入学、御進級、誠におめでとうございます。馬宮東小学校は昨年度創立150周年の記念行事を終え、令和6年度の新たな歴史がここから始まります。1年生71名を新たに迎え、全校児童458名、18学級でスタートしました。子どもたち一人ひとりが新しい学年・学級で友達・担任との出会いに希望とやる気を持ち、今日を迎えたことと思います。私たち教職員がその思いを受け止め、子どもたちにとって毎日が安心して過ごせ、楽しいと感じられる学校となるよう教育活動を進めてまいります。

本年度は、これまでの学校経営方針を踏まえた上で、特に【令和6年度の重点】として、以下に挙げる4点に取り組みます。

(下線を引いたところが昨年度との変更点です。)

(1) 教育DX(デジタル・トランスフォーメーション)で実現させる学びの自律と個別最適化そして探究化

- ①「シン・GIGAスクール構想」で実現する「教える」から「学ぶ」への授業改革
- ②「教えて考えさせる授業」と「問題解決的学習」の効果的な実践
- ③「これまでの授業」と「1人1台端末を効果的に活用した授業」のベストミックスを図る
- ④スクールダッシュボードを活用した個に応じた学びの実現
- ⑤「STEAMS TIME」における【探究的学習活動】の改善・充実

(2) 一人ひとりの多様な幸せの実現

- ①月に1回の生徒指導委員会で情報共有し、組織的な対応の充実により子どもたちへの個に応じたきめ細やかな支援
- ②全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」の実現
- ③「Solar-む」設置や校内体制を充実し、子どもたちの多様な幸せの実現

(3) コミュニティ・スクールを核とした

学校・家庭・地域との連携・協働の充実

- ①教育活動の積極的な公開や学校だより・画報 Web ページによる情報提供
- ②コミュニティ・スクールとスクールサポートネットワークとの一体的推進
- ③「心豊かな児童の育成」に向けた取組として「読書」「あいさつ」を学校・家庭・地域で推進

(4) 子どもの可能性を最大限に伸ばす教職員の資質向上研修の充実

- ①全ての教員が授業改善に取り組み、授業を公開する
- ②1人1台端末を効果的に活用する指導方法について、定期的に職員で学ぶ
- ③勤務時間内で業務を終了できる職場づくりをする

先日、本校の学区内にある大宮武蔵野高校の校長先生から「とても嬉しいことがあり、ぜひ御報告したい」と来校されました。本校の低学年の子が手袋を落とし見当たらずに困り、通りかかった大宮武蔵野高校の生徒さんに助けを求めたら、一緒になって探し、見つけてくれたお礼の手紙が学校に届いたそうでした。その子は、「大きくなったらお兄さんたちのような親切な人になりたい」と保護者の方に話したそうです。高校生らしい優しい行動に心温まる思いとともに、学校、家庭、地域でのつながり、関わりが様々な場面を通して子どもたちを成長させていくことを改めて実感しました。

大宮武蔵野高校の生徒さん、本当にありがとうございました。

引き続き、今年度も本校の教育活動に御理解、御協力をよろしくお願いいたします。